

■ 注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

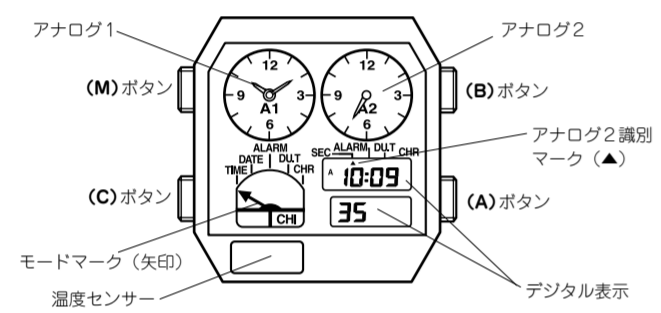
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

- このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

■ 商品の特長

この時計は、時刻の他にカレンダー、アラーム、クロノグラフやデュアルタイム機能等を持ったコンビネーションクォーツウォッチです。また、常に最新の温度を計測表示する温度計機能を搭載しています。

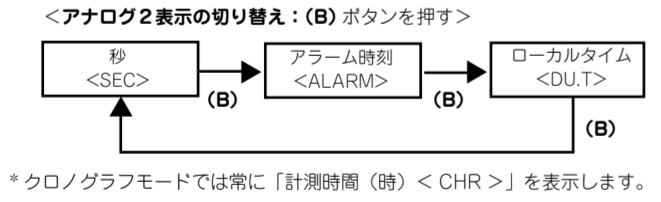
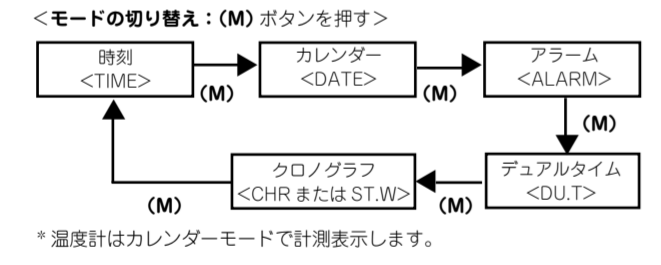
■ 各部の名称



ランプ点灯方法：(C)ボタンを押すと、ランプが点灯します。アナログ1：常に現在時刻(時、分)を表示します。アナログ2：「秒(時刻)」、「アラーム時刻」、「ローカルタイム」のいずれかを目安表示します。但し、クロノグラフモードでは、「計測時間(時)」に切り替わります。*時計のモデルによってデザインが異なります。

■ 表示の切り替え

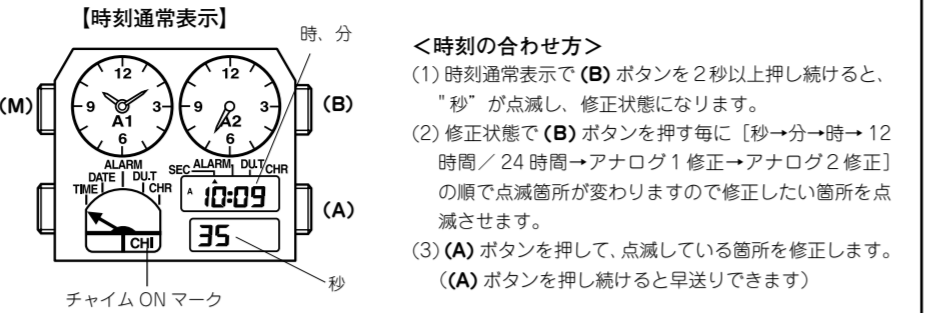
(M)ボタンを押すごとにモード(機能)が切り替わります。モードマーク(矢印)で現在のモードを確認できます。(B)ボタンを押すごとにアナログ2の表示が切り替わります。アナログ2識別マーク(▲)で現在の表示を確認できます。



■ 製品仕様

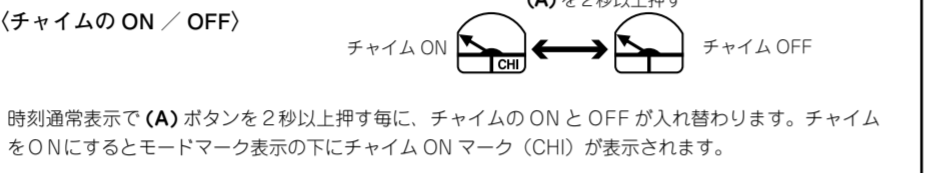
- キャリアー No：8989
 - 型式：コンビネーション(アナログ+デジタル)水晶時計
 - 時間精度：平均月差±15秒 常温(+5℃~+35℃)携帯時
 - 作動温度範囲：0℃~+55℃
 - 表示機能：アナログ1：時、分
アナログ2：秒、アラーム時、ローカルタイム時、クロノグラフ計測時間(時)のいずれかを目安表示
デジタル：時刻：時、分、秒
・カレンダー：曜、日、温度
・アラーム：時、分、温度メモ
・デュアルタイム：ローカルタイム(時、分、秒)
・クロノグラフ：12時間計(1/1000秒単位)、スプリットタイム計測
 - 付加機能：ランプ機能/温度計機能/電池寿命切れ予告機能
 - 使用電池：電池番号 280-30/電池コード SR1120W
 - 電池寿命：約2年(アラーム音：20秒/日、チャイム：24回/日、ランプ：3秒/日使用した場合)
- *上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ 時刻の合わせ方 <TIME>



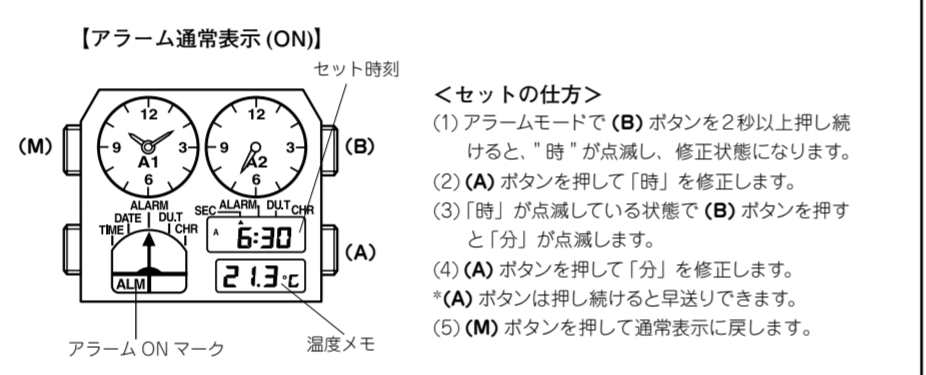
- ・秒は、(A)ボタンを押すと、「00」秒に戻りスタートします。
- ・12時間制/24時間制表示は、(A)ボタンを押すごとに交互に切り替わります。
- ・アナログ1(「時」と「分」が同時に点滅)は、(A)ボタンを押す毎に針を時計回りで1/3分(20秒分)ずつ修正できますので、デジタル時刻と同じ時刻に合わせます。
- ・アナログ2(「00」と「アナログ2識別マーク」が同時に点滅)は、(A)ボタンを押す毎に針を時計回りで1目盛ずつ修正できますので、0秒位置(12時位置)に合わせます。
- (4)(M)ボタンを押して通常表示に戻します。

- *アナログ2の「秒」表示はデジタル時刻の「秒」と連動しています。
- *12時間制表示の時は、午前(A)/午後(P)に注意して時刻を合わせてください。
- *時刻修正状態(点滅表示)で約2分以上ボタン操作が行われないと、自動的に時刻通常表示に戻ります。
- *修正状態で(M)ボタンを押すと、すぐに時刻通常表示に戻ります。



■ アラームの使い方 <ALARM>

このアラームは1度セット(ON)すると、毎日同じ時刻に約20秒間アラームが鳴ります。また、アラームセット時刻の温度を自動的に記憶し、温度メモとして表示します。鳴っているアラームはいつれかのボタンを押せば鳴りやみます。



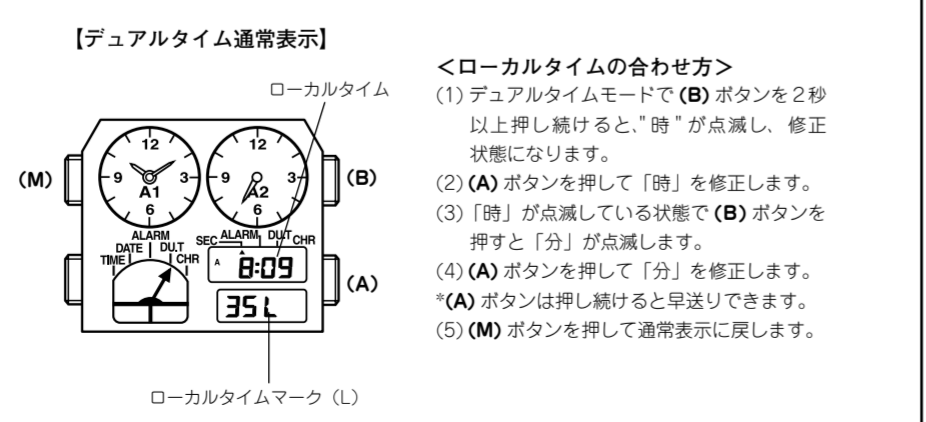
- *アラーム修正状態では、アナログ2表示はアラームセット時刻の目安を表示します。
- *時刻モードが12時間制表示の時は、アラーム時刻も12時間制表示となりますので、午前(A)/午後(P)に注意してセットしてください。
- *アラーム修正状態で約2分以上ボタン操作が行われないと、自動的にアラーム通常表示に戻ります。
- *アラーム修正状態で、(M)ボタンを押すとすぐにアラーム通常表示に戻ります。
- *アラームモードで、(A)ボタンを押している間アラームの確認ができます。
- *記憶された温度メモは、次のセット時刻の温度を記憶するか、新たにアラームをセットし直すまで表示されます。

<アラームのON/OFF>アラーム通常表示で(A)ボタンを押す毎にアラームのON(セット)とOFF(解除)が切り替わります。アラームをONにするともードマーク表示の下にアラームONマーク(ALM)が表示されます。



■ デュアルタイムの使い方 <DU.T>

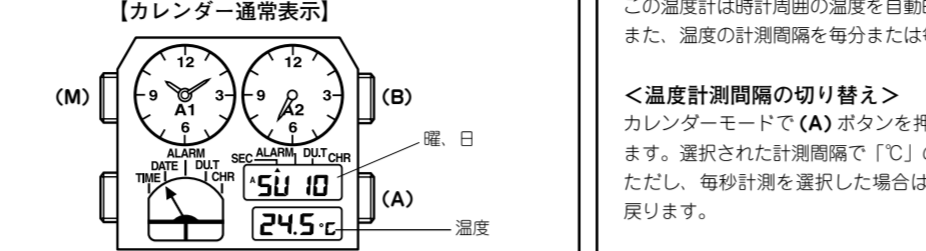
時刻モードの時刻と異なるもう1つの時刻(ローカルタイム)をこのデュアルタイムモードでセットできます。ローカルタイムの秒は、時刻モードの秒と連動しています。



- *修正状態では、アナログ2表示はローカルタイム時刻の目安を表示します。
- *修正状態で約2分以上ボタン操作が行われないと、自動的にデュアルタイム通常表示に戻ります。
- *修正状態で、(M)ボタンを押すとすぐにデュアルタイム通常表示に戻ります。

■ カレンダーの合わせ方 <DATE>

カレンダーモードでは、デジタル表示に温度が計測表示されます。

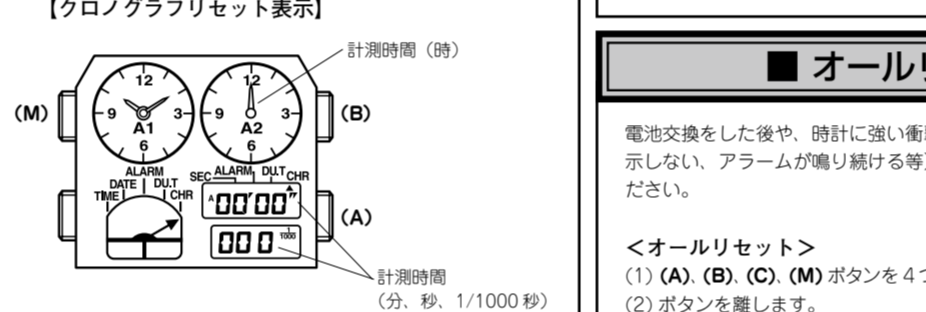


- (1)カレンダー通常表示で(B)ボタンを2秒以上押し続けると、デジタル表示下段で「月」が点滅し修正状態になります。
- (2)修正状態で(B)ボタンを押す毎に、[月→日→年]の順で点滅箇所が変わりますので修正したい箇所を点滅させます。
- (3)(A)ボタンを押して、点滅している箇所を修正します。(A)ボタンを押し続けると早送りできます。
- (4)(M)ボタンを押して通常表示に戻します。

- *カレンダー修正状態では、アナログ2表示は常に秒を表示します。
- *年、月は修正時のみ表示されます。
- *年は、1999~2099年の間でセットできます。
- *カレンダー修正状態(点滅表示)で約2分以上ボタン操作が行われないと、自動的にカレンダー通常表示に戻ります。
- *曜は、年、月、日の修正によって自動的に修正されます。
- *非存日(例えば、2月30日など)に合わせた場合は、通常表示に戻すと自動的に翌月の1日を表示します。
- *オートカレンダーの為、うるう年を含め月末の修正は不要です。
- *カレンダー修正状態で(M)ボタンを押すと、すぐにカレンダー通常表示に戻ります。

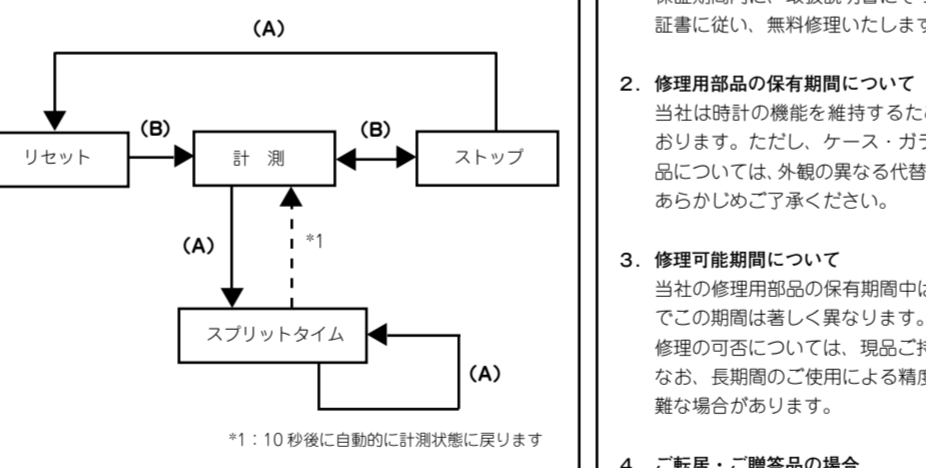
■ クロノグラフの使い方 <CHRまたはST.W>

このクロノグラフは、1/1000秒単位で最大「11時間59分59秒999」まで計測表示します。12時間計測終了後は「0時間00分00秒000」に戻り停止します。また、スプリットタイム(途中経過時間)の計測もできます。



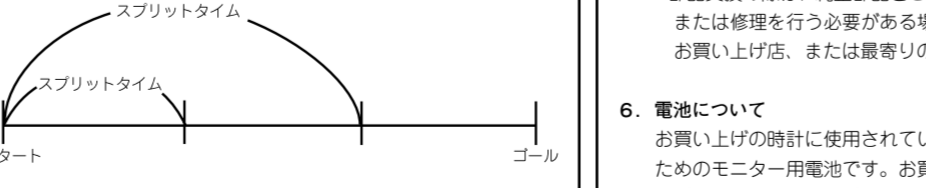
☆操作確認音
クロノグラフモードで(A)または、(B)ボタンを押すごとに確認音が鳴ります。

- <積算計測の仕方> (1)(B)ボタンを押すとクロノグラフ計測がスタートします。(2)計測中に(B)ボタンを押すとストップし、再度(B)ボタンを押すと再スタートします。(3)ストップ中に(A)ボタンを押すとリセットします。



<スプリットタイム計測の仕方> (1)(B)ボタンを押すとクロノグラフ計測がスタートします。(2)計測表示中に(A)ボタンを押すと、10秒間スプリットタイムを表示します。(スプリットタイム表示中は「SPL」が点滅表示します。)(3)(A)ボタンを押す毎に最新のスプリットタイムを計測表示します。(4)ストップ中に(A)ボタンを押すとリセットします。

☆スプリットタイム：スタート地点からの途中経過時間のことです。



<クロノグラフ計測中のモード切り替え>
クロノグラフ計測中に(M)ボタンを押してモードを切り替えても計測は継続していますので、再びクロノグラフモードに戻せば計測の続きを表示することができます。

■ 温度計の使い方

温度計は、カレンダーモードで使うことができます。この温度計は時計周囲の温度を自動的に計測し、デジタル部に表示します。また、温度の計測間隔を毎分または毎秒のどちらかで選択できます。

<温度計測間隔の切り替え>
カレンダーモードで(A)ボタンを押すごとに毎秒計測/毎分計測を交互に切り替えます。選択された計測間隔で「C」のマークが点滅します。ただし、毎秒計測を選択した場合は、約3分間の毎秒計測後、自動的に毎分計測に戻ります。

<温度計測範囲と計測精度>	
表示温度範囲	-9.9℃~+59.9℃
表示単位	0.1℃
計測精度	+20℃~+30℃:±1℃ -5℃~+40℃:±2℃

- (注意)
・温度測定の際、時計を腕につけている状態では体温の影響を受けます。正確な温度を測定する為には、時計を腕から外し、少なくとも20分~30分測定を行う温度環境になじませてください。時計が、その温度環境になじむまでの時間は、温度差や場所などによって異なります。
- ・上記の表示温度範囲を超えて温度計を使用しないでください。極端な高温または低温で使用すると、故障の原因となる場合があります。

■ 電池寿命切れ予告機能

電池寿命が近づくと、デジタル表示上のコロロン(:)が点滅をはじめます。また、アナログ2が秒表示をしている間に限り、アナログ2が2秒遅計(2秒に1回、2目盛ずつ遅計)に変わります。このような場合は、早めに電池交換を行ってください。

■ オールリセットについて

電池交換をした後や、時計に強い衝撃や静電気が加わり時計が異常な表示や動作(表示しない、アラームが鳴り続ける等)をしたときは、次のオールリセットを行ってください。

- <オールリセット> (1)(A)、(B)、(C)、(M)ボタンを4つ同時に押します。(2)ボタンを離します。これで、オールリセット操作は終了です。オールリセット後は、時刻をはじめ各モードの表示を正しく合わせ直してご使用ください。

■ 保証とアフターサービスについて

- 保証について
保証期間内に、取扱説明書にそったご使用状態で、万一故障が生じた時には、保証書に従い、無料修理いたします。
- 修理用部品の保有期間について
当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・バンド・針・ボタンなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 修理可能期間について
当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境がこの期間を著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参のうえ販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。
- ご転居・ご贈答品の場合
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 定期点検(有償)について
・安全に長くご使用いただくために、2~3年に一度点検(有償)を行ってください。
・防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてバックシムやパネ機構の交換を行ってください。
・部品交換の際は、純正部品をご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検、または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金等、詳しくはお買い上げ店、または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 電池について
お買い上げの時計に使用されている電池は、工場出荷時に機能、性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。
※電池寿命が切れた場合は、保証期間内であっても電池交換は有料となります。
- その他お問い合わせについて
保証や修理、その他不明の点がございましたら、お買い上げ店、または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

■ お取り扱いにあたって

警告 防水性能について

- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキューバダイビング)などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について
・時計の文字板及び裏ふたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。

名称	使用例						
	表示文字板又は裏蓋	仕様	水がかかる程度の使用。(洗顔・雨等)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキューバダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのボタンの操作。
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

* WATER RESIST(ANT)△△barはW.R.△△barと表示している場合があります。

注意

- ・水分のついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は、着替はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド(金属製またはゴム製)にお取り替えの上、ご使用ください。
- ・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- ・万一、時計内部に水が入ったり、また、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- ・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、リゅうず、ボタンなど)が外れる危険があります。

注意 バンドのお取り扱いについて(着脱時の注意)

- ・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ナチュライト付きの場合
・「ナチュライト」は、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に完全な善光性の物質を使用した夜光塗料です。ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。ただし、蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。また、光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまふ場合がありますのでご注意ください。

- 温度について
・-10℃~+55℃の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。製品仕様範囲外での使用はお避けください。
- ・常温(+5℃~+35℃)の温度範囲外で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。
- 磁気について
・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカ部、電磁調理器などに近づけないでください。

注意 携帯時の注意

- ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。
- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

警告 電池の取り扱いについて

- ・幼児の手が届かないところに置いてください。誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。

注意 電池交換について

- ・電池寿命切れの時計をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
- ・電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

保管について
・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。また、電池寿命切れの電池を入れたまま長期間放置しますと、電池の漏液により機械部品が損傷する場合がありますので、ご注意ください。